

大野 暁彦 講演会

「不確かさ」を抱擁する造形



大野 暁彦

Akihiko Ono

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科准教授
株式会社 SfG landscape architects 代表取締役

2007：千葉大学園芸学部緑地・環境学科卒業
2009：千葉大学大学院園芸学研究科修士課程修了
2009-2010：文化庁新進芸術家派遣制度としてオランダ・OKRA に勤務
2014：千葉大学大学院園芸学研究科博士後期課程修了
2015：SfG landscape architects 設立
2017年より現職

《新代田ポケットナーセリー》(2016)
《太田市美術館・図書館》(2018)
《ふるーむの風》(2019)
《鍋屋パ イテック会社広場》(2020) ほか

2024.03.16 Sat

Infomation

【会場】

オンライン (ZOOM)

Peatix のイベントページにてお申し込み後、イベントの視聴ページにアクセスできるようになります。当日にイベント視聴ページ上の「イベントに参加」ボタンを押してもらうことで、ZOOM の会場 URL に移動します。

【スケジュール】

17:00 ~ 19:30 講演会・質疑応答など

【申込み方法】

Peatix の JLAU 関西ランドスケープセミナー部会の当イベントページ (<https://jlau-kansai-seminar-7.peatix.com/>) にて申し込みください。

定員 (100 名) に達し次第、申込を締切とさせていただきます。



【参加費用】

一般 1000 円 JLAU 会員/学生 無料

※造園 CPD 単位の取得を希望される方は Peatix での申し込み時にアンケートにてご自身の CPD 会員 ID 番号 (12 ケタ) を記入してください。セミナー当日の中間で参加の確認を行いますので、必ず登録された氏名でログインしてください。当日参加の確認が取れば自動登録されます。

【主催】

一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟 (JLAU)

(セミナーに関する問い合わせは Peatix の当イベントページにございます、問い合わせボタンにてお願いいたします。)

Outline

本講演の中では、ランドスケープ設計だからこそ「形」や「線」のあり方について考えていきたい。ランドスケープ空間を設計する中では、実に「不確かな」ことが多い。利用者は不特定多数であったり、変動する気候といったことだけでなく、予算の減額を迫られることもあれば、付随工事であれば工期が圧縮されたり・・・と「不確かな」ことを言えばキリがない。しかし、「不確か」であるからこそ、「不確かさ」こそその空間造形のあり方もまたあると考えている。空間の骨格をつくるべく強い主張とおおからさとを同時に持ち合わせたしなやかな空間デザインやアーキテクト像の可能性を、設計に携わったプロジェクトを中心に紹介しながら探っていく。



一般社団法人 ランドスケープアーキテクト連盟